

特別展

大岡信展

言葉を生きる、言葉を生かす



2025年3月20日(木・祝) — 5月18日(日)

〔開館時間〕 9:30～17:00 (入館は16:30まで) 〔休館日〕 月曜日 (5月5日は開館)

〔観覧料〕 一般700円(500円)、65歳以上・20歳未満及び学生350円(250円)、高校生100円(100円)、中学生以下は無料

* () 内は20名以上の団体料金

〔編集委員〕 三浦雅士

〔主催〕 県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会

〔協力〕 大岡信研究会

〔後援〕 朝日新聞社、NHK横浜放送局、FMヨコハマ、神奈川新聞社、tvk(テレビ神奈川)、読売新聞社

〔協賛〕 岩波書店、京急電鉄、相模鉄道、東急電鉄、横浜高速鉄道、神奈川近代文学館を支援する会

〔広報協力〕 KAAT 神奈川芸術劇場

〒231-0862 横浜市中区山手町110

Tel. 045-622-6666 <https://www.kanabun.or.jp>

〔最寄り駅〕 東急東横線直通・みなとみらい線 元町・中華街駅6番出口から徒歩10分

Kanagawa Museum of Modern Literature

県立神奈川近代文学館

横浜・山手 港の見える丘公園内

特別展

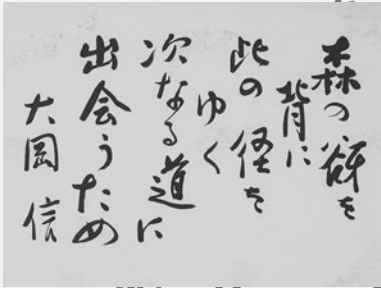
大岡信展

言葉を生きる
言葉を生かす



1

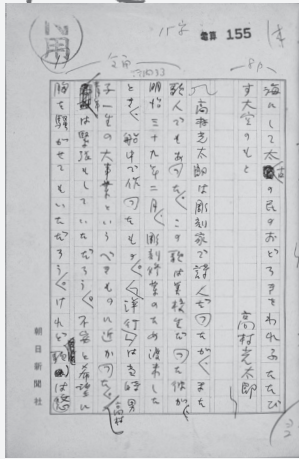
後で下で愛けちられる



2



3



4

卓越した知性を内包し、詩歌を読み、書き、その魅力を余すところなく発信した大岡信（1931–2017）。批評『現代詩試論』でデビューしたのち、詩集『春 少女に』などで愛や生きる歓びをうたい、ライフワーク「折々のうた」では詩歌を人びとにとって身近なものとしてきました。その織り成す言葉は、人びとを魅了し続けています。

当館では2020年以降、大岡家をはじめとする方々から大岡の遺した書、原稿、創作ノート、書簡などを受贈し、「大岡信文庫」として保存しています。本展ではこれらの資料を中心に〈おおらかな感性の詩人・大岡信〉の生涯を追いながら、広く人びとにひらかれた、豊かな言葉の世界を展開します。

本展会期中のイベント ※詳しくはホームページ等でご確認ください。

①～④＝要事前申込。お電話（045-622-6666）またはホームページの申込フォームで、お名前・電話番号・希望日・人数をお知らせください。先着順で定員になり次第締め切ります。①～③の料金は当日のお支払い、④は事前振込。
会場：①～③＝展示館2階ホール、④＝展示館2階中会議室、⑤＝展示館1階エントランスホール

①講演会「日本詩歌の豊穡」

4月5日（土） 14:00～

講師：三浦雅士（評論家、本展編集委員）
料金：一般1,000円（友の会会員800円）

②特別講演会「父を語る」

4月26日（土） 14:00～

講師：大岡玲（作家、大岡信長男）
聞き手：西川敏晴（大岡信研究会会長）
料金：一般1,200円（友の会会員1,000円）
共催：大岡信研究会

③トーク「1人1人の『海』を挨拶に」

5月10日（土） 14:00～

出演：岡本啓（詩人）、マーサ・ナカムラ（詩人）、
水沢なお（詩人）
料金：一般1,200円（友の会会員1,000円）

④文学の教室「現代詩入門」

4月20日（日）、5月18日（日）、

6月15日（日）、7月27日（日）

講師：八木幹夫（詩人）

各日10:30～/14:00～の2クラス募集

料金：全4回一般3,500円（友の会会員2,500円）
大岡信、清岡卓行のはか辻征夫・粕谷栄市・新川和江・
谷川俊太郎らの作品を鑑賞しながら、現代詩の世界を
わかりやすく解説します。

⑤スライドトーク（職員による展示説明）

会期中の毎週金曜日（3月21日は除く）14:00～
参加無料（要展示観覧料）・申込不要

〔次回展示〕

企画展「清岡卓行展——大連、パリ『円き広場』」
2025年5月24日（土）～7月27日（日）

1：大岡信 1999年8月 撮影・相澤寛

2：書「森の裾を背に此の径をゆく 次なる道に出会うため」

3：大岡詩 加納光於制作「アララットの船あるいは空の蜜」1971～
1972年 オブジェ内に封じ込められた詩集『砂の嘴・まわる液体』は、
『大岡信全詩集』（2002年11月 思潮社）に収録されるまで読むことが
できなかった。

4：「折々のうた」第1回原稿 「朝日新聞」1979年1月25日に掲載 「朝日
新聞」創刊100周年の日にスタートしたコラム。2007年3月31日まで
足かけ29年にわたり国内外の詩歌を紹介した。

5：安野光雅画「ぬべたまの夜、天の掃除器せまってくる」（1987年10月
岩波書店）函原画 1987年 ©空想工房

2～5は当館蔵・大岡信文庫

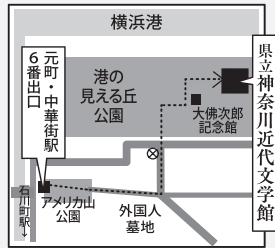
ACCESS

※駐車場がありませんので、公共の交通機関等をご利用ください。

〈東急東横線直通・みなとみらい線〉元町・中華街駅下車
6番出口（アメリカ山公園口）から徒歩10分

〈バス〉神奈川中央交通バス①系：桜木町駅～保土ヶ谷駅
／横浜市営バス②系：桜木町駅～山手駅／観光スポット
周遊バス「あかいくつ」 いずれも「港の見える丘公園
前」下車、徒歩3分

〈JR根岸線〉石川町駅下車 元町口（南口）から徒歩20分



大岡信展

公式図録

言葉を生きる
言葉を生かす



『大岡信 言葉を生きる、言葉を生かす』

詩稿ノート、書、創作メモなど神奈川県立近代文学館・
大岡信文庫の資料を多数掲載。批評家、詩人としての
活動、そして日本古典の探究や、世界の詩人たち
との共同制作にまで広がる〈おおらかな感性の詩人〉
大岡信がつむいだ豊かな言葉の世界にせまる。

編著：県立神奈川近代文学館、公益財団法人神奈川文学振興会
執筆：三浦雅士、五味文彦、長谷川雅、越智淳子、高橋順子、
永田紅、野村喜和夫、蜂飼耳

A5判並製／総176ページ／予価2,200円＋税
2025年3月20日刊行予定（一般発売は27日）／港の人刊

写真は結婚前の大岡とかね子

折々のうた 三六五日

日本短詩型詞華集

大岡 信（解説＝堀江敏幸）〔カラー版〕【岩波文庫】
定価1309円



〒101-8002 東京都千代田区一ツ橋2-5-5
www.iwanami.co.jp

